



# 新年あけまして おめでとうございます

玉村町長

角田 紘二



新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた、輝かしい新年をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。また、本年も引き続き、町政各般にわたり格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当町は近年、東毛広域幹線道路の開通や関越自動車道に接続する高崎玉村スマートインターチェンジの開設などにより、県内外へのアクセスが飛躍的に向上し、利便性が高まっております。インターチェンジに隣接する道の駅玉村宿も、昨年9月に来場者数が100万人を突破し、売り上げも堅調に推移するなど、町の発展に向けて環境が整いつつあります。こうした玉村町の魅力を東京圏の方々知ってもらうため、東京銀座にある「ぐんまちゃん家」において、情報を発信する事業に

も取り組んでおります。

一方、当町においても人口減少が徐々に進んでおり、こうした流れに歯止めをかけ、活力ある町づくりを進めることが喫緊の課題であります。このため「第5次総合計画」や「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」などに基づき、定住促進などの各種施策を進めているところです。具体的には、文化センター周辺土地区画整理事業により、232区画の住宅地を整備しています。今年から本格的に分譲が始まり、多くの人に移り住んでいただくことを期待しています。また、東部工業団地西地区の拡張事業などを推進し、企業誘致にも積極的に取り組んでまいります。

そのほか、子どもから年配の方まで、住みよいまちづくりのため、保育所や児童館などによる子育て支援や、健康寿命を延ばし高齢者がいつまでも元気で暮らせるよう地域で交流できる、ふれあいの居場所づくりなどを今後も進め、平成30年度から玉村町での包括支援体制の構築を推進していきたいと考えております。

当町は昨年、昭和32年の町制施行から60周年を迎えました。先人が築き上げた玉村町のすばらしさを今後も継続し、町への愛着と関心を深め、より豊かな生活を築いていけるよう、住民主役の魅力ある町づくりを今年も進めていく所存です。

新春の門出にあたり、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます、年頭のあいさついたします。

玉村町議会議長

高橋 茂樹



新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた平成30年の新春をお迎えることと、心よりお慶び申し上げます。新年を迎え玉村町議会を代表し謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、町制施行60周年の節目となりましたが、町の内外でもさまざまな出来事がありました。輝かしいニュースとしては、陸上の桐生祥秀選手が日本人初となる9秒台（9.98秒）を記録し、将棋の藤井聡太四段が若千14歳で、30年ぶりに最多連勝記録（29連勝）を更新するなど、若い人たちの活躍が目立ちました。努力が実を結んだと感じた年でした。

しかし、一方では北朝鮮の脅威や世界のどこか

で起こっている紛争、そして、自然災害もありました。九州北部豪雨では、多くの尊い命が失われました。昨年は未曾有の被害をもたらしたカスリーン台風から70年目の年でもあり、防災について再認識した年となりました。

こうした自然災害から町民の皆さんの生命・財産を守り、安全にそして、安心して生活ができるよう、今後とも議会は執行と共に協力して参ります。

さて、現在町では、皆さんが生涯にわたって活躍できるまちづくりとして、雇用を増やし、定住人口を増やすための様々な施策に取り組んでいます。

町議会といたしましても、昨年6月に玉村町議会基本条例を制定し、これまでの取り組みや議会改革をさらに推進してまいります。

また、議員定数を16人から13人に削減いたしました。町が抱える諸問題に対する政策提言を行い、今まで以上に皆さんの意見を反映した開かれた議会を目指してまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。